

令和7年度（秦野支援学校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
1. 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	<ul style="list-style-type: none"> 公務外非行の防止の意識を高める 根拠に基づいた服務理解と遵守の徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 職員会議やTeams掲示板等で法令遵守に関する発信を適宜行い、職員の自覚ある行動を促した。 規約やハンドブック、リーフレット等の周知を丁寧に行い、服務理解と遵守の徹底を図った。
2. 職場のハラスメントの防止	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメントへの理解を深める 同僚性の向上を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ハラスメント防止について担当学部で協議を行い、校内研修で共有して意識を高めた。 確認し合うコミュニケーションを行うよう声を掛け合い、同僚性の高い職場作りをすすめた。
3. 児童・生徒へのわいせつ・セクハラ行為の防止	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒へのわいせつ・セクハラ行為の理解を深める わいせつ・セクハラにつながらない適切な対応の徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒へのわいせつ行為について担当学部で協議を行い、校内で共有して意識を高めた。 指導環境の整備と巡視等を実施して、不適切な対応の防止をした。
4. 体罰、不適切な指導の防止	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の実態に合った適切な指導を徹底する 児童生徒の人権の尊重を十分に意識した指導を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 体罰、不適切な指導について担当学部で協議を行い、校内研修で共有して意識を高めた。 「あいさつ」「さん付け呼称」等の取組の意識を高め、人権を尊重した指導徹底をすすめた。
5. 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容の大切さを十分に意識した業務遂行を図る 事故やミスのない業務体制を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> 入学者選抜等の事務処理について担当学部で協議を行い、校内研修で共有して意識を高めた。 マニュアルの整備や複数チェックの流れを整え、事故やミスのない業務の工夫を図った。
6. 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	<ul style="list-style-type: none"> 管理のための手順の確実な共有を図る 個人情報を適切な管理体制を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報の管理について担当学部で協議を行い、校内研修で共有して意識を高めた。 情報管理について、研修会や掲示板で管理手順の流れを繰り返し周知し適切な管理を促した。

○ 令和7年度における不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と今後の課題（学校長意見）

機会を捉えて、より高い倫理観をもって職員一人ひとりが教育公務員としての立場や行動のあり方を意識して行動できるような発信や事例の共有等を行い、不祥事防止に学校全体で取り組めた。

部門課程で計画的に各課題について協議を行い月例の不祥事防止研修で校内共有することで、不祥事防止の意識を高めることができた。グループ協議を通して主体的に考える機会となっているので、引き続き取組を続けていく。

4つの校舎という本校の職場環境を踏まえ、職員同士が円滑なコミュニケーションを図れる仕組みと雰囲気を整えて、引き続き教職員が自分事として考えられる事故不祥事防止に取り組んでいきたい。